

令和4年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市やまと天目山温泉資源活用施設				検証日	令和5年7月3日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	大村 山治		作成者名	小澤 龍司
	指定管理者	名称	株式会社 栄和交通					
		代表者	代表取締役 原田 孝典					
		所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1					
		指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月					
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町木賊517番地					
		設置目的	温泉資源の活用を通じて、市民福祉と健康の増進を図るとともに、広く一般の休養のための施設として、温泉資源活用施設を設置する。					
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	7名	開館日時間等	10:00 ~ 19:00 (毎週水曜日・年末年始・臨時休館を除く)	
	事業概要	サービス提供の内容						
指定管理業務		(1)天目山温泉の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。(6)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (2)天目山温泉施設使用料徴収事務に関すること。(7)備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く) (3)天目山温泉施設利用料の徴収事務に関すること。(8)その他施設の管理に関すること。 (4)施設利用にあたってのサービス、指導に関すること。(9)業務の報告 (5)その他の日常業務						
自主事業		(1)自社路線バスの活用(ローカル路線の車内にパンフレットやポスターを掲示) (2)自社ネットワークの活用(県内外営業所にパンフレットやポスターを掲示) (3)ポイントカードの発行及び「ふるの日」のポイント2倍企画や、季節ごとのイベントの企画 (4)景観の改善 (5)付帯設備の充実						

管理運営コスト推移(千円)		令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	〇〇年度(指定期間5年目)
予算	指定管理料	6,000	6,000	6,000	6,000	
	利用料金(温泉利用)収入	17,220	17,804	16,200	17,440	
	その他(売店・食堂)収入	19,600	17,509	13,160	14,560	
	管理運営経費	40,016	41,190	36,354	39,000	
決算	指定管理料	6,000	6,000	6,000	6,000	
	利用料金(温泉利用)収入	15,383	12,759	14,063	16,126	
	その他(売店・食堂)収入	13,038	11,961	13,143	13,518	
	管理運営経費	38,753	32,334	37,462	43,146	
収支	-4,331	-1,614	-4,256	-7,502		
減収補填		807	2,128			
施設の稼働状況	令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	〇〇年度(指定期間5年目)	
指標	施設利用者数(人)	33,596	27,860	31,214	34,885	
活動結果	・自主事業等や宣伝等には積極的に取り組んでおり、収入も昨年比で2,438千円の増収となったが、電気料金、燃料の高騰や人件費の増加により支出が大幅に増えている。					

CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
(2)施設の維持管理	3	・施設運営に支障がないように、日常点検、法定点検を着実に実施し、早期の異常・損傷の発見に努めている。 ・定期的にミーティングを行い職員の能力向上に努めている。	
(3)収入支出	2	・利用者数は、令和3年度を上回り、新型コロナウイルス流行前の水準に戻りつつある。 ・世界的な原油高や、電気料金の高騰が大きく影響し、経費が高んだことは、温泉施設の性質上やむを得ない部分もあるが、効率的な人員配置による人件費の削減などの経費削減の余地がある。	
(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)		
	優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善	・施設の適正な維持管理を行い、自主事業等や宣伝等には積極的に取り組んでいる。 ・燃料や、電気料金高騰の影響は避けられない部分もあるが、効率的な人員配置による人件費の削減など、経費削減が行える部分もある。

ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応	
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが落ち着きつつあり、利用者数も回復傾向であるため、売店や食堂の利用促進などの売上を増加させるための計画を積極的に考えていく。 ・施設、設備の老朽化や改修が必要な箇所等施設の健全化も課題となっている。
課題解決への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・広告や広報、HP、自社のネットワークなどを活用し、積極的に施設のPRをしていく。温泉の特色や登山などと関連付けた利用についても積極的に情報発信を行い、集客に繋げていく。 ・施設、設備については、優先順位をつけ、効率的に改修を行い健全化を図る。 	

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。
 ・自社のホームページ、自社路線バス、県内外の自社のネットワークを活用したPR活動等を積極的に実施し、昨年度より利用者が増えているため、引き続き、集客に向けた積極的なPR活動を行っていただきたい。
 ・世界的な原油高の影響で、燃料費が大幅に増加していることが、赤字額が増えた大きな要因ではあるが、経費面を工夫する中で、健全経営に取り組んでいただきたい。